

NEWS LETTER



△9/16(土)開催 SDGs ネットワーク事業「演劇を通じた人づくり地域づくり」△

CONTENTS

- ・10月・11月主催イベント
- ・図書コーナー紹介
- ・ユースボランティア茅ヶ崎2023開催報告
- ・研修受入報告
- ・「さぼちゃんが行く！」
特定非営利活動法人
湘南市民メディアネットワーク
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



NHKの朝ドラ「らんまん」モデル牧野富太郎博士の名言「雑草という草はない」。どのコも味わいがあってよいな〜と、見過ごしがちな身近な植物に関心を持った方も多いのでは？

毎年色とりどりの季節の花を咲かせてきたサポセン花壇は、諸事情から、現在再整備に向けて検討中。若干緑多めですが、しばらくは個性豊かな草花たちを愛でるのはいかがでしょうか。

NPO 講座 1

『地域メディア活用法！』
～地域メディアをもっと活用して、
市民活動を盛り上げよう！



- ◇日時：10月21日(土) 14:00～16:00
- ◇対象：市民活動団体・地縁団体など非営利活動団体の広報担当、団体広報に興味のある方
- ◇講師：豊田 博美さん
(株式会社タウンニュース 茅ヶ崎編集室)
- ◇定員：30名(申込制、先着順) ◇参加費：500円
- ◇持ち物：筆記用具、名刺(あればご持参ください)
- ◇その他：手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は10/6(金)までに申込みください



開催案内

NPO 講座 2

市民活動団体のための
『補助金・助成金活用術』



- ◇日時：11月18日(土) 14:00～16:00
- ◇対象：げんき基金や民間助成金事業を実施している団体、団体立ち上げや補助金申請を検討している団体
- ◇講師：早川 仁美さん(地域のお茶の間研究所 さろんど) 茅ヶ崎市役所 市民自治推進課職員
- ◇定員：30名(申込制、先着順)
- ◇参加費：500円
- ◇その他：手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は10/6(金)までに申込みください



これからの予定(10月~3月)

市民活動のおまつり

こどたん+プラス 2024

開催日：2024年3月9日(土)・3月10日(日)

@ちがさき市民活動サポートセンター

体験型多世代交流イベント「こどたん+」は、参加した人たちが「ちがさきを知る、みんなでつながる、新しいことにチャレンジする」キッカケづくりの場。今回は2日間開催!“ゆるっとコミュニケーション”から生まれるそれぞれの素敵な関係づくりを、そして市民活動の魅力を届けましょう。

『キックオフ交流会』(企画募集説明会) 開催!

- ◆日時：10月28日(土) 10:00~11:30 (サポセンにて対面)
- ◆対象：市民活動団体、自治会等の地縁団体、学校、行政、地域づくりや社会貢献に関心のある事業者・グループ・個人など
- ◆内容：まつりの概要説明(テーマ、実施内容、参加ルール、申込方法、スケジュール等)、質疑応答、参加団体による交流タイム~コラボ企画が生まれるかも?

『キックオフ交流会』参加申込はコチラ(メール・TEL/FAXでも申込OK)▶

★興味がある方、ぜひ参加ください☆



市民活動のおまつりって??

説明だけでも聞いてみたい



こどたん+2023 アーカイブ

- ▶募集要項配付：10/15(日)~
- ▶参加申込期間：10/15(日)~11/30(木) ※申込締切日が早くなりました
- ▶募集カテゴリー：「ワークショップ」「物品販売」など(サポセン企画も予定)

// 10代、20代のワカモノたちの居場所 //

▶新企画

ワカモノ×まちびと おしゃべりばー はじめます!

- ▶開催日：10月29日(日) 10:30~12:00 @ちがさきサポセン
- ▶テーマ：「多様なはたらき方①」
- ▶ゲスト：矢野 雅大さん (遊びでまちづくりする準備室代表、放課後 NPO アフタースクールスタッフ、サポセンスタッフ)
- ▶予約不要・無料



◀ イベント詳細情報や開催報告は Instagram で!

おしゃべりばーは、ワカモノがまちの多様な価値観を持つ大人“まちびと”とゆるーくつながれる BAR のような場所です。毎月まちびとを一人ゲストに呼び、お菓子などを食べながら自由におしゃべりします。

初回からの3回は、「多様なはたらき方」というテーマ。第1回目では、大企業、ベンチャー企業、NPO 職員と様々なお仕事を経験され、現在は個人事業として、遊び×まちづくりをテーマに、「衣食住+遊」を社会に届けていこうとしている矢野さんをまちびととして呼びびします。

「遊びでまちづくりする準備室」の詳細はこちら▶



普段は交わらないまちの先輩の大人と話してみることで、新たな選択肢や考え方に出会えるかもしれません。

進路の選択や就職活動で葛藤を抱える学生から、ソーシャルな活動や地域での活動に興味がある人、多様な価値観を知りたい人まで、お気軽にご参加ください。お友達と一緒に参加するもあり、ふらっと立ち寄ってみるもありですよ。

◎2回目以降の開催予定日◎
11/26(日)、12/17(日)



▼申込はこちら▼



【申込期間】
11/1(水)~11/22(水)

今回は茅ヶ崎市国際交流協会の全面協力のもと、「多文化共生の地域社会づくり」をテーマに取り上げます。多様な文化的背景を持つ外国人住民の暮らしと、共生社会の実現に向けた官民の取り組みに関する理解を深め、多文化共生の地域づくりを自分事として考えるきっかけづくりの機会を提供します。

- ▶開催日時：11月26日(日) 14:00~16:00
- ▶場所：ちがさきサポセン
- ▶対象：多文化共生に関心のある市民、自治体職員、市民活動団体、事業者、地縁団体、福祉機関など
- ▶定員：30名(申込制、先着順)
- ▶参加費：無料

- ▶ゲストスピーカー：茅ヶ崎市国際交流協会
中根誠二さん(日本語日曜教室・グループリーダー)
佐藤育芝さん(国際交流子育てサークル・グループリーダー)
大和田つかささん(国際交流子育てサークル・スタッフ)



◎手話通訳 ◎要約筆記 ◎託児(6か月~3歳/先着3名)をご希望の方は、11月12日(日)までにお申込みください。



図書コーナーの紹介

館内に入ってフリースペースへ向かう一角に図書コーナーがあります。市民活動やまちづくり、SDGs、コミュニティデザイン、地域福祉など幅広い分野の旬な専門書や雑誌を取り揃えています。社会的課題の現状、課題解決の知恵や取り組み事例、組織運営や広報など、市民活動のヒントがきっと見つかります。

これから市民活動を始める人、すでに始めている人、まちづくりの最新動向に関心を寄せる自治体職員の方々、ぜひ一度、足をとめて手に取ってご覧ください。

半年ごとに、みなさんに読んでいただきたいおすすめ本を紹介しています。貸出期間は2週間、一人一回3冊まで(新着図書は貸出期間が異なります)



スタッフより図書コーナーのおすすめ本(2冊)の紹介と感想です♡

『あそびの生まれる場所』 西川正 著

●こどもだけでなく、大人にも必要な遊びの時間。作りたいたいの時間/空間/人の関係がある<あそび>。

多くのものがサービス化されている世の中、たまたまそこにいる人と、そこにあるものでつくるという本来の遊びを「こどたん+2024*」で再現できたらな~路上将棋、らくがきタイム、砂あそび等アイデア募集中!

*10/28開催「こどたん+2024」キックオフ交流会へのご参加お待ちしております♪(詳細はP2)

●関係づくりに必要なのは、「あなたのための」と相手をお客さんにすることではなく、一緒に何かをつくる機会をもつことであり、一緒にやってもらえませんか、と声を掛けることなのだ。「公共」などと難しいことを考えずに迷ったらこの言葉を思い返して業務に取り組むようになっています!



『世界は思考で変えられる』 東田直樹 著

自閉症の僕が見つけた「いつもの景色」が輝く43の視点

●視点を変えることで見えてくる景色があると著者が紡いだ優しい言葉数々。自然と前向きな気持ちにさせてくれる温かい本でした。

前を向けない時にあなたの背中も押してくれるはず。特に心に残った言葉は、「やりたいことがわからないときには回答をいったん保留にする」「現実逃避は少しだけ自分を甘やかす時間」でした。



~新着本 プチ紹介~

- ・「まちを変える都市型農園 コミュニティを育む空き地活用」
著者 新保 奈穂美 学芸出版社
- ・「ケアする人のためのプロジェクトデザイン」
著者 西上 ありさ 医学書院

図書の詳しい情報はコチラから▶



もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2023年7月～9月 開催報告

開催報告 ユースボランティア茅ヶ崎 2023 <<茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催>>

今年で19回目を迎えたユースボランティア茅ヶ崎。コロナ禍の影響もなく無事に開催することができました。参加した学生たちは、「誰かの役に立ちたい」「自分にもできることをやってみたい」など、それぞれの思いを胸にボランティア体験に臨みました。

社会や地域で家庭や学校では味わえない経験を通して、自分で考えて行動することや人との関わり方など、自主性・社会性を育む場の提供ができました。



イメージキャラクター
ドリーミー

STEP
1

オリエンテーション

7月8日(土)10:00~12:00/14:00~16:00

@さがみ農協ビル5階 大会議室

今年は同じ日に2回開催！

ボランティア体験に向けての心構えや体験先の紹介を受けた後、体験したい団体のブースへ行き、担当者と面談して体験日程を決めました。

体験談 体験を控えた学生たちに響く先輩の体験談！

「人の役に立てることに喜びを感じた」「団体の活動の面白さ、ボランティアの面白さや楽しさを感じて欲しい」と先輩からの話に参加者は真剣に耳を傾けていました。



江口友弥さん



石附 菜さん

高校生の運営ボランティア

事前準備、当日の駐輪場や会場への案内係、会場設営に受付のボランティアをお願いしました。高校生のチカラに感謝します。



～運営ボランティアに参加した学生の声～

- ・挨拶すると返してくれて嬉しかった
- ・初対面の人と緊張し過ぎず接することができて良い機会だった
- ・受付が笑顔で楽しくできた
- ・イスを綺麗に並べるには人との協力が必要だと思った
- ・今後も誰かの役に立つようなことをしたい

協力学校：茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、アレセイア湘南中学高等学校ドルカス部

STEP
2

ボランティア体験

7月21日(金)～9月9日(土)

中学生62名、高校生97名、大学生以上4名、合計163名がいざボランティアへ！体験先は23施設団体、約50カ所。分野は福祉施設、子ども支援、福祉、環境、地域安全、国際支援など多岐にわたっています。

♪ 様々な考え方に触れて視野が広がったかな～♪

いつもと違う世界を
体験できました！





コースボランティア体験者の交流会。体験を終えた人、残っている人も集まり、体験先で感じたことやおもしろい話、失敗談をみんなで楽しく振り返り共有する場！26名の体験者と体験先の担当者5名が参加しました。



～アイスブレイク

グループ内で自己紹介の後、クイズを出し合い当たったらお菓子をGet!



～グループワーク

「よかったこと」「大変だったこと」「気づいたこと」を書き出し

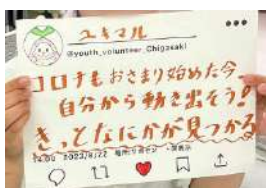


🍷司会は大学生コンビ🍷 同年代の進行で場も和みます

～個人ワーク

「私が100万人以上のフォロワーがいるインフルエンサーだったら、SNSでボランティアについてどう発信する？」

個性あふれるワードがたくさん！サポセンX(旧Twitter)でも紹介



振り返り話しも弾みました



体験先の担当者も楽しくワーク！いい笑顔😊

シェアdeボランティアの詳細はHPをご覧ください▶



集合写真📷▶
お疲れ様でした♡



■体験レポート(感想文)&アンケートより■

- ・将来、福祉系の仕事に就きたいと思い参加した。初めてで怖かったです温かく迎えてくださり、仕事も丁寧に教えてもらいとてもやりやすかった
- ・障がいをもった友人もいるので接し方などわかっているつもりだったが、想像しているより難しくかなり考えさせられた2日間だった。2日目は1日目より接する子の性格が分かってかわかった
- ・普段、小さい子と関わる機会がなく、どう接したらいいかわからず不安でしたが、先生を見て「こういう時はこう言うんだよ」と色々なことを学ぶことができた
- ・ボランティアに来ている他校の人や公園に遊びにきている方と話をしたり、色々な人と関わったのが楽しかった
- ・ビーチクリーン体験でたくさんのマイクロプラスチックを回収した。普段気にせず海に行っていた自分が恥ずかしくなり、地域活動の一員になれたことが何よりも嬉しかった
- ・「ありがとう」と言われて嬉しかった

■受入れてくださった団体からの感想■

- ・学生が来ることでメンバー・スタッフの意識が少し上がったように感じた
- ・ボランティア意識が高く、真摯に取り組もうという姿勢に好感を持った。若い孫のようなボランティアさんで楽しく接することができた
- ・1~2日のボランティア体験だけではもったいない。他の日も体験に来て欲しい
- ・普段接しない世代の方が来られると新鮮な雰囲気を感じられ良かった
- ・ボランティアと利用者が関り、お互いが戸惑いながらも楽しむ様子をうかがうことができ、いい経験になった

【ひとこと】この夏のボランティア体験は、自分が社会や地域にどう貢献できるか考える「きっかけ」になったのではないのでしょうか。体験先での交流や人とのコミュニケーションを通して、新しい価値観や社会・地域の課題など、新しい発見に気付いてくれたら嬉しいです。そして、その気付きが自身の成長に繋がることを期待しています。受入れてくださった施設・団体の皆さま、本当にありがとうございました。

【体験先の受入団体・施設 23カ所】

生活リハビリクラブ茅ヶ崎/(社福)翔の会萩園ケアセンター/(社福)翔の会湘南鬼瓦/(社福)翔の会ブルーベリー/(社福)翔の会水平線/(社福)翔の会入道雲/NPO 法人松の実会みらま〜/NPO 法人トムトムあいあいクラブ/地区社協・地区ボラセン(茅ヶ崎市内9地区)/NPO 法人ちがさき学童保育の会/ぼかぼか保育園/わくわく保育士ボランティア(茅ヶ崎市内17の社会福祉法人立保育園)/NPO 法人ワーコレたんぼぼひろば たんぼぼはうす/きらきらぼし(子育て応援する会)/ちがぼ〜(茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会)/NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会/茅ヶ崎里山公園倶楽部/ほのぼのビーチ茅ヶ崎/サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ/NPO 法人湘南市民メディアネットワーク/湘南動物愛護病院/NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき/認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき (順不同)

～地域や社会をよりよくしたいと活動する
市民ひとりひとりの思いや多様な生き方にふれてみませんか～

サポセンでは、社会人の研修受入や活動のコーディネート、市等との協働による様々な研修講座を随時実施。依頼があった場合は事前に要望をお聞きし、研修を希望される方の興味関心や熱意に応えられるよう、見学先や研修内容をカスタマイズしています。研修期間が複数日の場合は、できるだけ生の声を感じ取ってもらえるよう、団体の協力のもと、いろいろな活動現場をご案内しています。

◆「ちがさき健康づくり講座」(市主催) 7/4(火) ◆

市民自らの健康づくりと地域での健康づくり活動ができる知識を習得することを目的とした講座の一環で40代～80代の受講者21名の方がサポセンに来館。食や農、健康づくりを中心に、市内の様々な市民活動を紹介しました。受講生の方々からは、「団体数の多さに驚いた」「若い方が積極的に活動され茅ヶ崎のまちづくりが行われていることを知り、素晴らしいと思った」「茅ヶ崎って素敵だなと改めて感じた」などの感想をいただきました。



◆ 神奈川県立高校の教諭 7/27(木)～7/28(金) ◆

先生になって5年目の社会体験研修をコーディネート。7月末、猛暑の2日間、本と演劇が好きで対話を通じたコミュニケーションに関心がある高校の先生の市民活動体験ツアーに伴走しました。

最初に訪れたのは、Coworking&Library「Cの辺り」。本を介して人と人がつながる「一箱本棚」をヒントに、教育現場でも応用して実践したいと即断されて驚きました。



▲Coworking&Library「Cの辺り」

ヘッドランドではOcean's Love 茅ヶ崎(認定NPO法人)が行う障がいのある子どもたちの“海水浴”に遭遇して、砂まじりの茅ヶ崎を満喫。

2日目は、まちスポ茅ヶ崎、南湖ハウス、リトルハブホーム、Pukana La [=] MARKET、みらまーるを分刻みで訪問して運営者の熱い思いを伺いました。

最も印象的だったのは、2夜連続で見学したことも応援丸による学習支援です。いつの間にか中学生の中に溶け込んで英語や数学の問いにも答える学習ボランティアぶりに、市民として何か始める一歩として、小さなつながりをつかまれたように感じました。

先生からのメッセージの一部をご紹介します。

「ゆるやかなつながりによって肩の力を抜き、息がしやすくなることも人生には多いと思います。湘南茅ヶ崎の地で、このような過ごしやすさを目指して活動されている人たちを知り、茅ヶ崎に住むものとして心動かされる体験になりました。誠にありがとうございました。」

◆ 茅ヶ崎看護専門学校 8/24(木) ◆

茅ヶ崎看護専門学校1年生8名と引率の川北千鶴先生の計9名が、「地域・在宅看護論実習」先の一つとして、当センターを訪れました。サポセン以外の実習先としては、保育園、病院(外来)、地域包括支援センターなどがあり、サポセンを実習先としたのは今回がはじめて、とのこと。

当日は、センターの設立経緯・事業概要について、スライドを使って説明するとともに、掲示物コーナーなど、施設内を案内しました。看護学校生が一番関心をもってくれたのは、医療・保健・福祉分野で活動する市民活動団体(コミュニティナース茅ヶ崎など)を紹介した時でした。

川北先生によれば、かつて看護師の活動場所は病院や福祉施設に限られていたが、現在は、家庭への訪問看護や地域看護へと活動範囲が拡大しており、専門学校生が、従来の看護知識・技術に加えて、地域コミュニティ内の健康増進に関わる地域資源にも関心を持つことを期待しているとのこと。

サポセンを訪れた生徒の中から、将来、コミュニティナースとして活躍する看護師さんが生まれることを期待しています。





茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

さぽちゃんが行く！

団体 HP ▶



特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク

主に湘南地区を中心に、映像・メディアコンテンツを通して人と人・人と地域をつなぐことを目的として活動しています。2016年から「ユースボランティア茅ヶ崎」の受入団体。

《代表の中野晃太さんにお話をうかがいました》

映像制作の持つチカラ

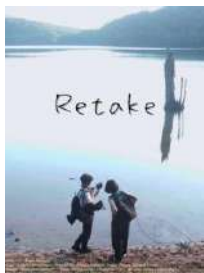
藤沢駅北口から北へ向かった遊行通りにある昭和6年築の古民家。懐かしく落ち着いた歴史ある建物「蔵まえギャラリー」の2階に事務所を構えています。団体名にあるように市民自らによる表現や発信する「市民メディア」を大切に日々活動。

団体を立ち上げる原点は前代表の森さんの実体験にあります。それは、ある定時制高校の生徒がドキュメンタリー映像を制作することをサポートした時、困難を抱えた子どもたちが映像制作をきっかけに変わっていった姿でした。人前で話すのが苦手だった生徒やひきこもりだった生徒が上映会でみんなに向けて作品の発表をする姿を目の当たりにして、映像を作る過程で人は変わる！と思ったそうです。映像をツールとして青少年が自分に自信を持てるようになることや社会との関わりを持てるようになるきっかけになることを目的に2007年に団体が設立されました。

中野さんが高校時代、放送部で映像作品作りをしている時に森さんから「湘南で映像祭を企画するにあたり作品を出してみないか」と声がかかりました。それ以来、当団体と関わる様になり、今は代表を受け継ぎワークショップ事業の開催、神奈川県や藤沢市からの委託事業、さらには青少年から高齢者までの福祉事業、市民活動等の映像制作やネット配信、映像祭や上映会の企画運営、地域に根ざした映像・メディアコンテンツ制作など様々な事業を団体メンバーとインターンの大学生、ボランティアと展開しています。

映画「リテイク」 教え子の頑張る姿が源に

中野さんが関わった人たちと共に作った映画「リテイク」。第45回びあフィルムフェスティバルで577本の応募作品の中からコンペティション部門「PFF アワード 2023」で見事グランプリを受賞しました！



ワークショップ事業で藤沢総合高校の「映像表現」という授業で講師もしている中野さん。この映画を撮るきっかけとなったのは、教え子のひとりが卒業後、映画を撮影しているという話を聞いたこと。

△「リテイク」..10月末までオンライン配信中(110分)！
【「DOKUSO」・「ユースネクスト」(有料)で視聴可能】～

“自分も頑張らなくては！”と触発されました。コロナ禍で時間に余裕があり、自分の今までについて考え直した頃でもありました。

学生時代の映画制作の経験や、そのときの制作を通しての友人たちとの関わり(よかったことも、失敗も...)、さらにはその当時の作品自体も振り返ったり、実現と結実しなかった作品企画のアイデア、またワークショップの仕事を通じて見えてきた青少年の映像制作の過程も思い出したりして、それらを「リテイク」のシナリオに落とし込みました。猛暑や雨、一般の人が映りこまないようにするなど大変な撮影でしたが、シナリオ以上にキャストが個性やアイデアを出してくれていいものができたそうです。「キャスト陣もですが、一見ふつうの青春映画のようですが、とんでもないことをやっている映画なので、そのあたりご注目ください！」と仰っていました。

ワークショップで世界が広がる

映像作りを通じて、仲間と普段とは違うコミュニケーションが生まれます。人それぞれ役割があり、演じることで普段とは違う個性を発揮できたり、映っている



△ワークショップ風景

だけで味がでたり、作るのが好きなら小道具作りなど、個性を生かし合いコラボレーションして作品ができます。作っていく過程での変化やコミュニケーションを大事にしているそうです。

「ワークショップで地域CMを作る時には、プロでは出せないその人だからこそ見える視点や地域との関わりを作り出すと良い作品ができる。中でも特性を持った子の作品は、見たこともない独創的な作品と出会えるので面白い。そしてその子の違う一面を作品として一番に見ることができるので嬉しい。」と、やりがいも語ってくれました。

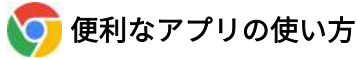
ゆくゆくは、高齢者や障がいのある方、外国ルーツのある方もワークショップを開催し、映画作りの過程や作品を通し様々な関わりが生まれる「場」ができればいいと野望を抱いているそうです。

静かな眼差しと口調の裏に隠れた熱い思いを語ってくれました。今後の活動の展開が楽しみです！

お知らせ

■ ITスキルアップミニ講座3

「Google クラウド活用①②」連続開催



- ◇日時：①10月31日(火)13:30～17:00
②11月28日(火)13:30～17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇講師：横溝 芳明さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：Google アカウント経由で Chrome を同期 PC やスマホでデータ共有について学びます
- ◇参加費：500 円（資料代）
- ◇定員：15 名（要申込・先着順／1 団体 3 名まで）
- ◇対象：非営利活動団体、組織活動において情報管理・連携を強化したい方など
- ◇持ち物：筆記用具、ノート PC
- ※Google Chrome インストールが必要
- ※デスクトップ PC の方は、サポセンの貸出 PC が利用可能（要申込／先着 2 名まで）



詳細・申込は
コチラ▲

■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンで相談！

開催日：第 2・第 4 月曜日（無料・予約制）

①13：00～14：00②14：00～15：00

③15：00～16：00 ※各回定員 2 名

※申込受付：毎月 1 日から

※お申込みは、直接 NPO 法人パソボラ湘南へ

TEL 申込(16 時以降)▷杉岡さん 090-9543-0070



詳細はコチラ▲

■ 11 月より「募集」が始まります！

令和 6 年度実施「市民活動げんき基金補助制度」

「市民活動げんき基金」を財源に、市民の自主的で公益的な事業を財政面（補助金の交付）や相談・情報提供等により支援する制度です。活動を軌道にのせたい、活動の拡充や発展を目的に次の一歩として新規事業を展開したいなど、市内で主に活動している市民活動団体が応募できます。

市民活動げんき基金



※詳細・お問い合わせは市民自治推進課・協働推進担当まで

TEL：0467-81-7126 FAX：0467-87-8118

■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月 1 日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷10/1 号：小さな教室カクツクル

▷11/1 号：チアフル

（令和 5 年度のげんき基金補助事業実施団体です）

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

■ 快適な空間を…エアコン工事完了！

作業コーナーからフリースペース小にかけてのエアコンが新しくなりました！暑い日も寒い日も利用しやすい空間を提供します♪

引き続き、みなさんのご利用をお待ちしています。

サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

10 月							11 月							12 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			

・10/21 PM NPO 講座 1
 ・10/28 AM こどたん+2024 キックオフ交流会
 ・10/31 PM IT スキルアップミニ講座

・11/18 PM NPO 講座 2
 ・11/26 PM SDGs カフェ
 ・11/28 PM IT スキルアップミニ講座

・12/16 こどたん+2024 参加団体顔合わせ

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30（休館日：毎月第 3 水曜日、年末年始(12/28～1/3)）

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

（指定管理期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

サポセンキャラクター
“さぼちゃん”



サポセン HP